

番 号 1

平成25年12月 2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 7番 阿部 則比古

平成 25年 12月 2日
午前 (午後) 2時00分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>1. 本市の中長期的な財政に大きな不安を感じる。 門脇市長はどのように考えているのか。</p> <p>2. 門脇市長が一期目の目玉施策として遂行して来た地域運営体のような施策は、2期目ではどのようにするつもりか。</p> <p>3. 医療局が全くと言っていいほど、市民の期待したような役割を果たしていない。2期目に向かってどうするつもりなのか伺う。</p>			
上記のとおり通告します。			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 9番 黒 沢 龍 己

平成 25年 12月 2日
午前・午後 2時55分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. コメ政策について</p> <p>来年度から大きく変わる水田政策により、農家は減反の取り組みに不安と戸惑いでいっぱいのことと思います。こうした心配を早く取り除くためにも、迅速な説明、対応が必要と思いますが、市としての進め方、考え方について伺います。</p> <p>(1) 農業所得減少対策について (2) 取り組み作物の選択について (3) 中山間地域農家の格差課題について (4) 6次産業化に対する市としての考え方について</p> <p>2. 神代中央道路延長計画について</p> <p>神代中央道は、当初の計画より遅れているようですが、もう少しで課題が解決し、数年で計画路線の開通が図られることと思います。この路線の必要性、利便性を考えた場合、この後もさらなる延伸を視野に入れ、桧木内川に新しい橋を架けるなどの計画になると、尚いっそう広域的な交通の利便性が良くなると思います。</p> <p>近隣住民とのアクセス、農山村交流、また災害時の利用等仙北市にとって将来有効であり、活性化につながるとと思いますが、市長の思いを伺います。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 11番 荒木田 俊 一

平成 25年 12月 3日

午前・午後 9時15分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 2期目に入った門脇市政について</p> <p>(1) 一期目の「明日を創る8つの約束」は継続するのか。</p> <p>(2) 市民の満足度が上がらない理由をどう捉えているのか。</p> <p>(3) 市長の思いが先行し、職員との政策協議が十分になされていないと思う場面があると感じるが市長は感じていないのか。</p> <p>(4) スケジュールがあまりにも過密で、外に向けた行動は多いが、内部がおろそかになってはいないのか。</p> <p>2. 機構改革について</p> <p>(1) 環境防災課の内、防災部門は総務部に変更すべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 消防団に機能別団員制度を導入する考えはないか。</p> <p>(3) 角館庁舎問題はどうなっているのか。</p> <p>3. 市の記念日の制定について</p> <p>(1) 記念日を制定する考えはないか。</p> <p>4. 表彰規則について</p> <p>(1) 規則は作られているが、表彰者がいないことは、対象者がいないということなのか。</p> <p>5. 急変する農業政策問題について</p> <p>(1) 影響をどのように捉えているか 経済的な面、市政に与える影響、環境維持の面</p> <p>(2) 対応策をどのように考えているのか。 特に「戦略作物助成、産地資金」はどうなるのか。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

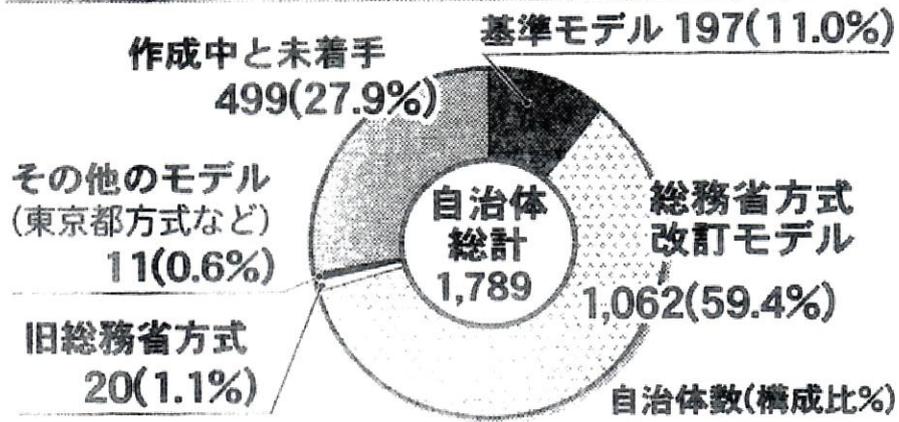
仙北市議会議員 2番 熊谷 一夫

平成 25年 12月 3日

午前・午後 10時20分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 財政の「見える化」・・・公会計制度の導入について</p> <p>(1) 大別して四種類の会計モデルの中でどの会計モデルを採用するのか？</p> <p>(2) 公会計制度の導入時期はいつになるのか？（財務諸表の公表時期は）</p> <p>(3) 公会計制度の活用について</p> <p>① 市民一人当たりの資産と負債の明確化・・・財政の見える化</p> <p>② インフラ更新資産の選択と集中</p> <p>③ 事業仕分け・・・「廃止」「改善」「拡大」に分類</p> <p>④ 合併10年以後の地方交付税減額に対応した中長期計画の作成</p> <p>2. 命を守る防災・減災対策について</p> <p>(1) 安全・安心メールの加入率向上の施策は？現在の加入者数は？</p> <p>(2) 自主防災組織を市内に何箇所を作る計画か？現在設置された町内組織数は？</p> <p>(3) 2度の大きな災害（水害と土石流）が起こった8月を「仙北市防災の月」と制定し、この期間に防災教育、防災・避難訓練等を行なって、防災意識を高め“命を守る防災月間”としたらどうか？</p> <p>3. 6次産業化への取り組み</p> <p>(1) 本市の6次産業化の取り組み状況</p> <p>(2) 生産者（農業者）への意識啓発と加工・販売プロデュースは？</p> <p>(3) 今後の民間企業との関わりと課題は？</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

自治体における会計モデルの適用状況 (2011年度決算)



自治体における会計モデルの適用状況(2011年決算)		
適用モデル	自治体数	(構成比%)
基準モデル	197	11.0
総務省方式改訂モデル	1,062	59.4
旧総務省方式	20	1.1
その他のモデル(東京都方式など)	11	0.6
作成中と未着手	499	27.9
自治体合計	1,789	100.0

3. 財務諸表

(1) 貸借対照表(バランスシート・BS)

現行の会計方式は、1年間の資金の流れ(フロー)が中心であるため、資産や負債などのストック情報が分かりにくくなっています。

そこで、民間企業会計の手法を用いたバランスシートを作成することにより、税金の投入等で整備された資産の取得状況等、その資産形成の財源である負債、純資産の状況等を把握することができます。

ア. 資産：学校、公園、道路などこれからの世代に引き継ぐ社会資本や投資、基金など

イ. 負債：市債(公債・借入金)や退職給付引当金などこれからの世代の負担となるもの

ウ. 純資産：資産の取得のため、今までの世代や国・県が負担した将来返済しなくてもよい住民持分の財産

(単位:百万円)

資産の部	普通会計	単体会計	連結会計	負債の部	普通会計	単体会計	連結会計
1. 金融資産	4,097	5,894	6,189	1. 流動負債	2,001	3,030	3,236
(1) 資金	664	1,728	1,992	(1) 未払金及び未払費用	289	579	626
(2) 金融資産	3,432	4,166	4,197	(2) 前受金及び前受収益	0	0	0
① 債権	422	1,036	1,042	(3) 引当金	107	117	153
② 有価証券	6	6	6	(4) 預り金(保管金等)	135	176	178
③ 投資等	3,005	3,125	3,149	(5) 公債(短期)	1,280	1,966	1,985
2. 非金融資産	66,829	75,064	75,895	(6) 短期借入金	0	0	0
(1) 事業用資産	27,443	27,546	28,308	(7) その他流動負債	192	192	294
① 有形固定資産	27,046	27,085	27,837	2. 非流動負債	13,380	27,231	27,841
② 無形固定資産	397	455	456	(1) 公債	11,157	21,577	21,656
③ 棚卸資産	0	6	14	(2) 借入金	0	3,179	3,179
(2) インフラ資産	39,386	47,495	47,564	(3) 責任準備金	0	0	0
(3) 繰延資産	0	24	24	(4) 引当金	2,223	2,475	2,996
				(5) その他非流動負債	0	0	9
				負債合計	15,381	30,262	31,077
				純資産の部			
				純資産合計	55,545	50,697	51,007
資産合計	70,926	80,958	82,084	負債及び純資産合計	70,926	80,958	82,084

【貸借対照表からわかること】

資料-3

市民1人あたりに換算すると・・・

(単位:万円)

普通会計ベース

資 産	負 債
	45
205	純資産
	160

単体会計ベース

資 産	負 債
	88
234	純資産
	146

連結会計ベース

資 産	負 債
	90
238	純資産
	148

平成 24 年 3 月 31 日現在の人口 34,556 人

ア. 資産について

資産は、市政運営の資源として用いられ、将来にわたり行政サービスを提供するために使用されるものです。潟上市では、今までに普通会計で約 709 億円、単体会計で 810 億円、連結会計で 821 億円の資産を形成しています。市民1人あたりに換算すると普通会計では 205 万円、単体会計で 234 万円、連結会計で 238 万円になります。

全体の多くを占めているのは非金融資産で、そのうち学校や公民館などの事業用資産^{※1}では普通会計で 274 億円、単体会計で 275 億円、連結会計で 283 億円になります。道路、公園及び下水道管などのインフラ資産^{※2}では普通会計で 394 億円、単体会計で 475 億円、連結会計で 476 億円になります。

イ. 負債について

負債は、1年以内に支払いが必要となる流動負債と、これからの世代が負担することになる非流動負債に区分されます。

潟上市の負債は、普通会計で 154 億円、単体会計で 303 億円、連結会計で 311 億円になります。市民1人あたりに換算すると、普通会計で 45 万円、単体会計で 88 万円、連結会計で 90 万円になります。

負債の多くを占めているのは市債(流動負債の公債(短期)+非流動負債の公債+借入金)であり、普通会計で 124 億円、単体会計で 267 億円、連結会計で 268 億円になります。

ウ. 純資産について

今まで形成してきた資産のうち、普通会計で 555 億円、単体会計で 507 億円、連結会計で 510 億円については、今までの世代や国・県の負担により既に支払いが済んでいます。市民1人あたりに換算すると、普通会計で 160 万円、単体会計で 146 万円、連結会計で 148 万円になります。

※1 事業用資産について

事業用資産とは当該資産から将来的な経済的便益(キャッシュ・イン・フロー)が発生すると見込まれる資産をいいます。

※2 インフラ資産

インフラ資産とは上記とは反対に将来的な経済的便益が発生するとは見込まれない資産をいいます。

例えば道路については、使用者に対して使用料を徴収することが難しく、そして全員がその受益者となっている資産をいいます。

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 21番 真崎 寿 浩

平成 25年 12月 3日

午前・午後 11時43分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 観光について（仙北市の観光とは？）</p> <p>(1) 抱返り溪谷の開発、保護、整備について</p> <p>(2) 観光産業に対する住民への意識改革について</p> <p>(3) 受け入れ体制は万全なのか？ （おもてなしの気持ちは持っているのか・・・）</p> <p>2. 命の根源「水」</p> <p>(1) 水道事業について 未普及地における整備計画を明確にする必要があると思うが？</p> <p>3. 行政財産の管理は万全なのか</p> <p>(1) 安全で安心な地域づくりのために 市道等の改良について、安全対策も含めて、根本的な考えを</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 3番 門 脇 民 夫

平成 25年 12月 3日

午前・午後 9時55分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域防災計画の見直しについて (2) ボランティアの受け入れについて (3) 児童、生徒の避難体制について (4) 自主防災組織について <p>2. 除雪について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 除雪車の出動基準について (2) 除雪車オペレーターの技術向上講習について (3) 住宅密集地域における除雪スペースの確保について <p>3. 少子化対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 子育て支援について (2) 結婚支援について <p>4. 農業の未来展望について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 農地中間管理機構について (2) 米の生産調整（減反）制度の廃止について 			
<p>上記のとおり通告します。</p>			